

平成26年度

大阪府学力検査問題

(前期選抜)

数 学

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。
- 3 問題は、中の用紙のA面に1、B面に2・3があります。
- 4 「開始」の合図で、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

1 次の問いに答えなさい。

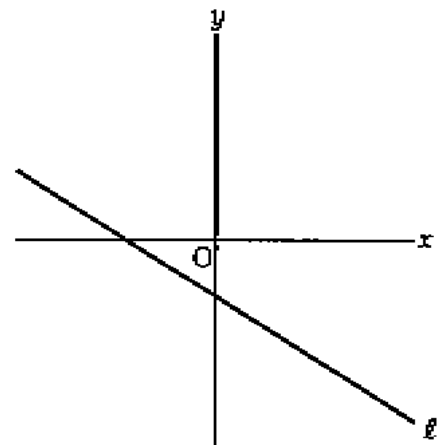
(1) $\frac{2a-4b}{5} - \frac{a-3b}{2}$ を計算しなさい。

(2) $(6\sqrt{5}-7\sqrt{3})(2\sqrt{5}+\sqrt{3}) - (4-\sqrt{15})^2$ を計算しなさい。

(3) a を 0 でない定数とする。 x の二次方程式 $ax^2 + 4x - 6a - 14 = 0$ の一つの解が $x = 2$ であるとき、 a の値を求めなさい。また、この方程式のもう一つの解を求めなさい。

(4) a を正の定数とし、 b, c を 0 でない定数とする。右図において、 ℓ は二元一次方程式 $ax + by = c$ のグラフを表す。次のア～エのうち、 b, c について述べた文として正しいものを一つ選び、記号を書きなさい。

- ア b は正の数であり、 c も正の数である。
- イ b は正の数であり、 c は負の数である。
- ウ b は負の数であり、 c は正の数である。
- エ b は負の数であり、 c も負の数である。



- 15) 三つの箱 A, B, C がある。箱 A には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$ が入っており、箱 B には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$ が入っており、箱 C には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{3}$, $\boxed{4}$, $\boxed{5}$ が入っている。A, B, C それぞれの箱から同時にカードを 1 枚ずつ取り出し、取り出した 3 枚のカードについて、次のきまりにしたがって得点を決めるとき、得点が 10 以上である確率はいくらかですか。A, B, C それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとして答えなさい。

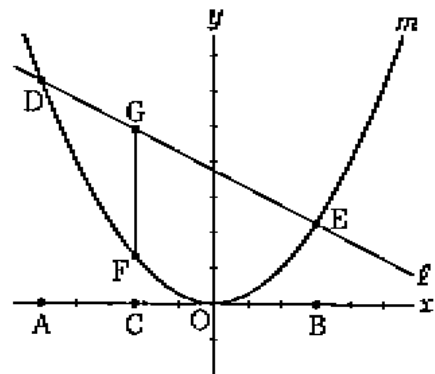
きまり

- ・ 3 枚のカードに書いてある数がすべて同じときは、3 枚のカードに書いてある数の積を得点とする。
- ・ 3 枚のカードに書いてある数がすべて異なるときは、3 枚のカードに書いてある数の和を得点とする。
- ・ 3 枚のカードに書いてある数のうち、2 枚だけが同じ数のときは、得点は 0 とする。

- 16) m を 2 けたの素数とし、 n を m の十の位の数と一の位の数とを入れかえてできる自然数とするとき、次の条件を満たす m, n の値の組をすべて求めなさい。

「 $m - n$ の値が、自然数の 2 乗で表される。」

- 17) 右図において、 m は $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフを表す。A, B は x 軸上の点であって、A の x 座標は -5 であり、B の x 座標は 3 である。C は、線分 AB 上の点であって、A, B と異なる点である。D, E, F は m 上の点であって、D の x 座標は A の x 座標と等しく、E の x 座標は B の x 座標と等しく、F の x 座標は C の x 座標と等しい。 ℓ は、2 点 D, E を通る直線である。G は ℓ 上の点であって、その x 座標は C の x 座標と等しい。G と F とを結ぶ。GF = $\frac{1}{4} \times AC \times CB$ であることを証明しなさい。ただし、 x 軸の 1 目もりの長さや y 軸の 1 目もりの長さとは等しいものとする。

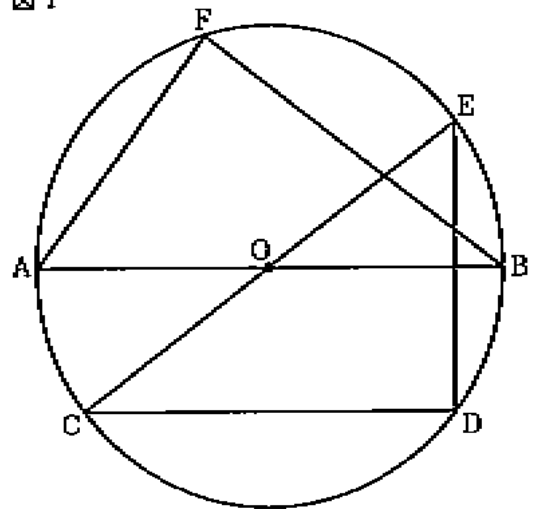


B 面

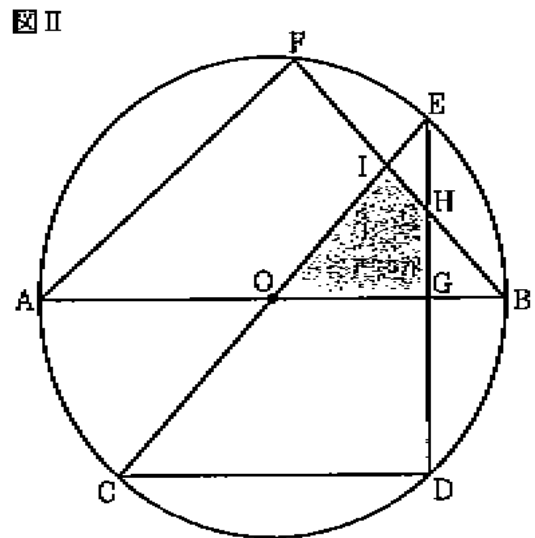
2 図1, 図IIにおいて, 円Oは, 点Oを中心とし線分ABを直径とする円であり, $AB = 10$ cmである。Cは, 円Oの周上の点であって, A, Bと異なる点である。半周より短い弧 \widehat{AC} に対する中心角 $\angle AOC$ の大きさは, 0° より大きく, 60° より小さい。Dは, Cを通り線分ABに平行な直線と円Oとの交点のうち, Cと異なる点である。Eは, 直線COと円Oとの交点のうち, Cと異なる点である。Fは半周より短い弧 \widehat{AE} 上にあつてA, Eと異なる点であり, $\triangle ABF \equiv \triangle ECD$ である。

次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は, その形のままでよい。

1) 図Iにおいて, 半周より短い弧 \widehat{AF} , \widehat{AC} について, $\widehat{AF} = 2\widehat{AC}$ であることを証明しなさい。



2) 図IIにおいて, Gは線分ABと線分EDとの交点であり, Hは線分EDと線分FBとの交点であり, Iは線分ECと線分FBとの交点である。



① $FB = x$ cm とするとき, 線分GBの長さを x を用いて表しなさい。

② $EH = HG$ であるとき,

③ 線分OGの長さを求めなさい。

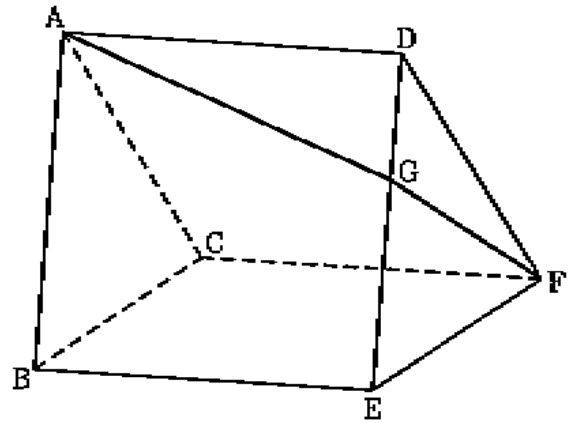
④ 四角形IOGHの面積を求めなさい。

3 図Ⅰ、図Ⅱにおいて、立体 $ABC-DEF$ は三角柱である。 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は合同な二等辺三角形であり、 $AB = AC = 5 \text{ cm}$ 、 $BC = 4 \text{ cm}$ である。四角形 $ABED$ 、 $ACFD$ 、 $BEFC$ は長方形である。 $AD = BE = CF = x \text{ cm}$ とする。

次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は、その形のままでよい。

(1) 図Ⅰにおいて、 G は、面 $ABED$ 、面 DEF を通って A から F まで移動するときの道のりが最短となる経路が辺 DE を横切る位置を表す点である。

図Ⅰ

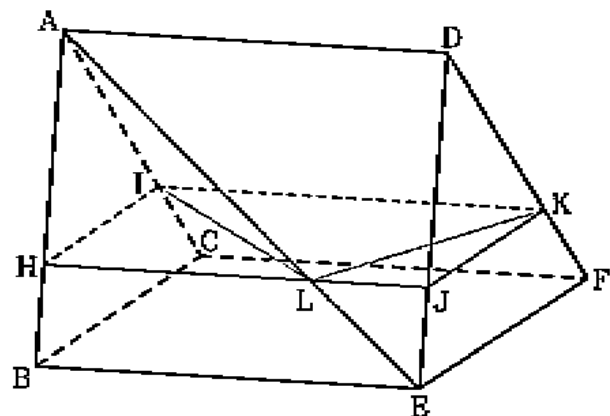


① 三角柱 $ABC-DEF$ の体積を x を用いて表しなさい。

② 線分 DG の長さが 2 cm であるときの x の値を求めなさい。

(2) 図Ⅱは、 $x = 6$ であるときの状態を示している。

図Ⅱ



図Ⅱにおいて、 H は、辺 AB 上にあって A 、 B と異なる点である。 I は H を通り辺 BC に平行な直線と辺 AC との交点であり、 J は H を通り辺 BE に平行な直線と辺 DE との交点である。このとき、 $HJ = BE$ である。 K は、辺 DF 上にあって $IK = HJ$ となる点である。このとき、4点 H 、 J 、 K 、 I は同じ平面上にあって、この4点を結んでできる四角形

$HJKI$ は長方形である。 A と E とを結ぶ。 L は、線分 AE と線分 HJ との交点である。 L と I 、 L と K とをそれぞれ結ぶ。 $\angle ILK = 90^\circ$ であるときの線分 AH の長さを求めなさい。求め方も書くこと。

平成26年度

大阪府学力検査問題

(前期選抜・帰国生選抜)

数 学

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。
- 3 問題は、中の用紙のA面に1、B面に2・3があります。
- 4 「開始」の合図で、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

※ 総合科学科(前期選抜)については、得点を100点満点に換算する。

1 次の問いに答えなさい。

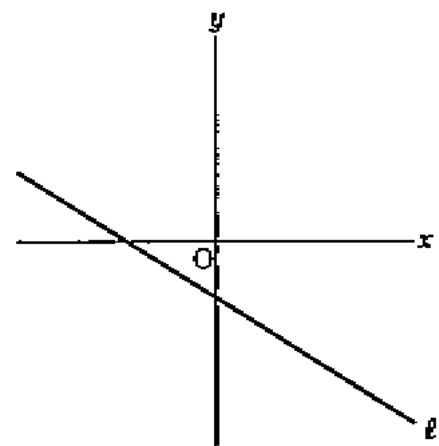
(1) $\frac{2a-4b}{5} - \frac{a-3b}{2}$ を計算しなさい。

(2) $(6\sqrt{5}-7\sqrt{3})(2\sqrt{5}+\sqrt{3}) - (4-\sqrt{15})^2$ を計算しなさい。

(3) a を 0 でない定数とする。 x の二次方程式 $ax^2 + 4x - 6a - 14 = 0$ の一つの解が $x = 2$ であるとき、 a の値を求めなさい。また、この方程式のもう一つの解を求めなさい。

(4) a を正の定数とし、 b, c を 0 でない定数とする。右図において、 l は二元一次方程式 $ax + by = c$ のグラフを表す。次のア～エのうち、 b, c について述べた文として正しいものを一つ選び、記号を書きなさい。

- ア b は正の数であり、 c も正の数である。
- イ b は正の数であり、 c は負の数である。
- ウ b は負の数であり、 c は正の数である。
- エ b は負の数であり、 c も負の数である。



15) 三つの箱 A, B, C がある。箱 A には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$ が入っており、箱 B には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$ が入っており、箱 C には数の書いてある 3 枚のカード $\boxed{3}$, $\boxed{4}$, $\boxed{5}$ が入っている。A, B, C それぞれの箱から同時にカードを 1 枚ずつ取り出し、取り出した 3 枚のカードについて、次のきまりにしたがって得点を決めるとき、得点が 10 以上である確率はいくらですか。A, B, C それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとして答えなさい。

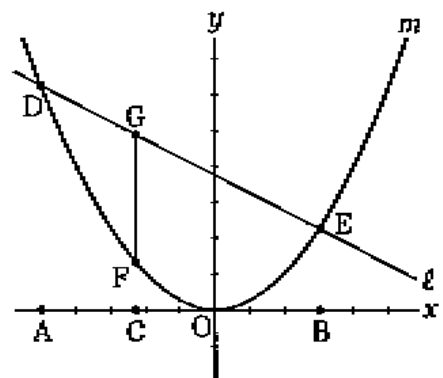
きまり

- ・ 3 枚のカードに書いてある数がすべて同じときは、3 枚のカードに書いてある数の積を得点とする。
- ・ 3 枚のカードに書いてある数がすべて異なるときは、3 枚のカードに書いてある数の和を得点とする。
- ・ 3 枚のカードに書いてある数のうち、2 枚だけが同じ数のときは、得点は 0 とする。

16) m を 2 けたの素数とし、 n を m の十の位の数と一の位の数とを入れかえてできる自然数とするとき、次の条件を満たす m, n の値の組をすべて求めなさい。

「 $m - n$ の値が、自然数の 2 乗で表される。」

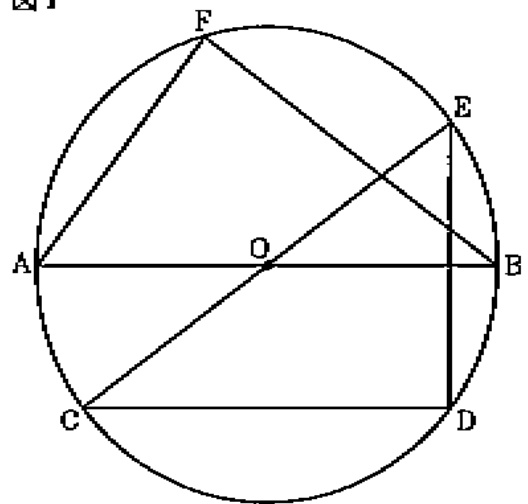
17) 右図において、 m は $y = \frac{1}{4}x^2$ のグラフを表す。A, B は x 軸上の点であって、A の x 座標は -5 であり、B の x 座標は 3 である。C は、線分 AB 上の点であって、A, B と異なる点である。D, E, F は m 上の点であって、D の x 座標は A の x 座標と等しく、E の x 座標は B の x 座標と等しく、F の x 座標は C の x 座標と等しい。 ℓ は、2 点 D, E を通る直線である。G は ℓ 上の点であって、その x 座標は C の x 座標と等しい。G と F とを結ぶ。GF = $\frac{1}{4} \times AC \times CB$ であることを証明しなさい。ただし、 x 軸の 1 目もりの長さや y 軸の 1 目もりの長さとは等しいものとする。



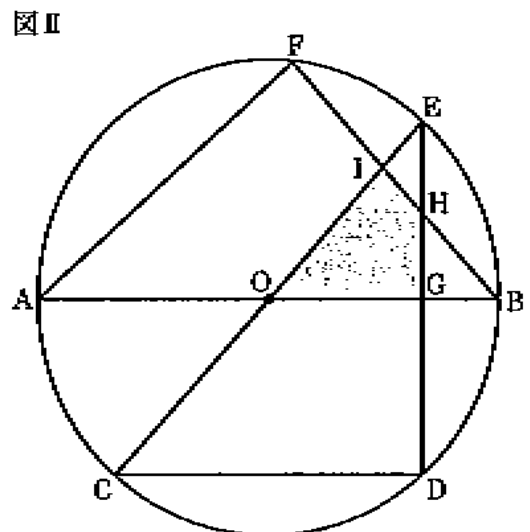
2 図Ⅰ、図Ⅱにおいて、円Oは、点Oを中心とし線分ABを直径とする円であり、 $AB = 10\text{ cm}$ である。Cは、円Oの周上の点であって、A、Bと異なる点である。半周より短い弧 \widehat{AC} に対する中心角 $\angle AOC$ の大きさは、 0° より大きく、 60° より小さい。Dは、Cを通り線分ABに平行な直線と円Oとの交点のうち、Cと異なる点である。Eは、直線COと円Oとの交点のうち、Cと異なる点である。Fは半周より短い弧 \widehat{AE} 上にあってA、Eと異なる点であり、 $\triangle ABF \cong \triangle ECD$ である。

次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は、その形のままでよい。

- (1) 図Ⅰにおいて、半周より短い弧 \widehat{AF} 、 \widehat{AC} について、 $\widehat{AF} = 2\widehat{AC}$ であることを証明しなさい。



- (2) 図Ⅱにおいて、Gは線分ABと線分EDとの交点であり、Hは線分EDと線分FBとの交点であり、Iは線分ECと線分FBとの交点である。



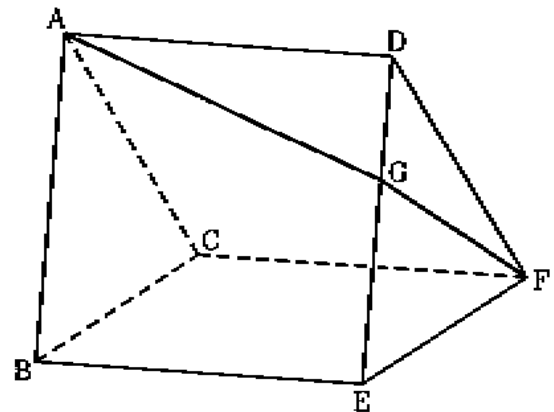
- ① $FB = x\text{ cm}$ とするとき、線分GBの長さを x を用いて表しなさい。
- ② $EH = HG$ であるとき、
- ③ 線分OGの長さを求めなさい。
- ④ 四角形IOGHの面積を求めなさい。

- 3 図 I, 図 II において, 立体 $ABC-DEF$ は三角柱である。 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は合同な二等辺三角形であり, $AB = AC = 5 \text{ cm}$, $BC = 4 \text{ cm}$ である。 四角形 $ABED$, $ACFD$, $BEFC$ は長方形である。 $AD = BE = CF = x \text{ cm}$ とする。

次の問いに答えなさい。 答えが根号をふくむ形になる場合は, その形のままでよい。

- (1) 図 I において, G は, 面 $ABED$, 面 DEF を通って A から F まで移動するときの道のりが最短となる経路が辺 DE を横切る位置を表す点である。

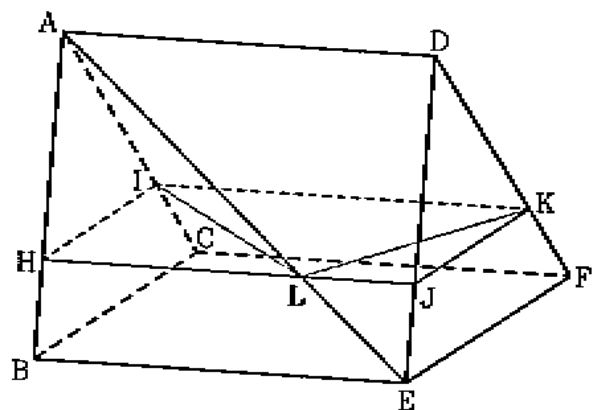
図 I



- ① 三角柱 $ABC-DEF$ の体積を x を用いて表しなさい。
- ② 線分 DG の長さが 2 cm であるときの x の値を求めなさい。

- (2) 図 II は, $x = 6$ であるときの状態を示している。

図 II



- 図 II において, H は, 辺 AB 上において A , B と異なる点である。 I は H を通り辺 BC に平行な直線と辺 AC との交点であり, J は H を通り辺 BE に平行な直線と辺 DE との交点である。 このとき, $HJ = BE$ である。 K は, 辺 DF 上において $IK = HJ$ となる点である。 このとき, 4 点 H, J, K, I は同じ平面上にあって, この 4 点を結んでできる四角形 $HJKI$ は長方形である。 A と B とを結ぶ。 L は, 線分 AB と線分 HJ との交点である。 L と I , L と K とをそれぞれ結ぶ。 $\angle ILK = 90^\circ$ であるときの線分 AH の長さを求めなさい。 求め方も書くこと。

平成26年度

大阪府学力検査問題

(前期選抜・帰国生選抜・
中国等帰国外国人生徒選抜)

数 学

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。
- 3 問題は、中の用紙のA面に1、B面に2・3があります。
- 4 「開始」の合図で、まず、解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

1 次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は、その形のままでよい。

(1) 次の計算をしなさい。

① $2 + (-6)$

② $\frac{3}{4} - \left(\frac{7}{12} - \frac{2}{3}\right)$

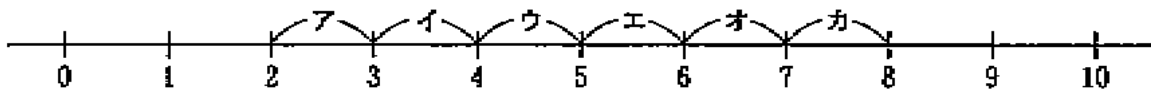
③ $3(2x - y) - 2(x + 2y)$

④ $-6ab^2 \times 5a \div (-2b)$

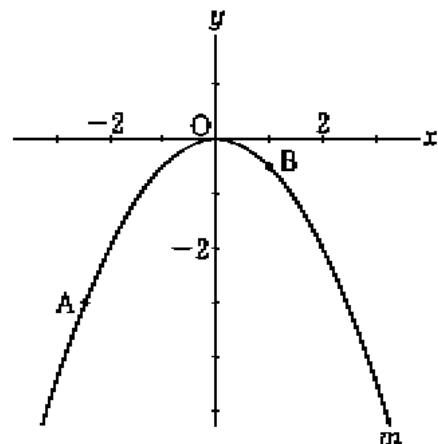
⑤ $(\sqrt{2} - 1)(\sqrt{2} + 2)$

(2) 二次方程式 $x^2 + 3x - 9 = 0$ を解きなさい。

(3) $\sqrt{26}$ は、次の数直線上のア～カで示されている範囲のうち、どの範囲に入っているか。一つ選び、記号を書きなさい。



(4) 右図において、 m は $y = -\frac{1}{2}x^2$ のグラフを表す。A は m 上の点であり、その x 座標は負であって、その y 座標は -3 である。B は m 上の点であり、その x 座標は 1 である。

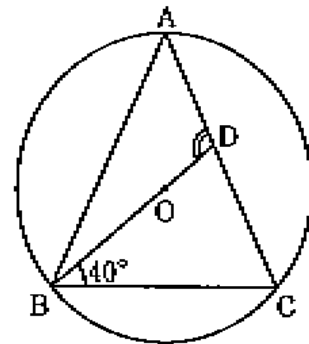


① A の x 座標を求めなさい。

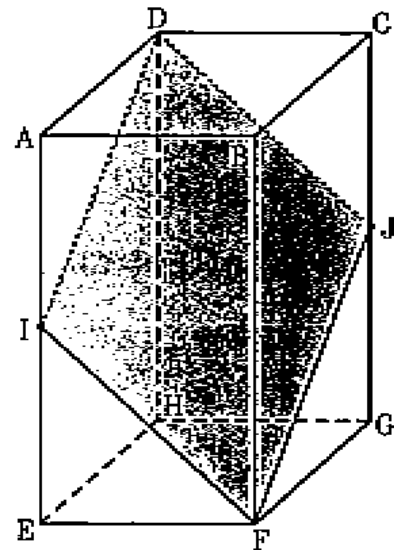
② B を通り 傾きが 4 の直線の式を求めなさい。

15) 二つのさいころを同時に投げるとき、出る目の数の和が9以上である確率はいくらですか。
1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとして答えなさい。

(6) 右図において、 $\triangle ABC$ は $AB = AC$ の二等辺三角形であって、頂角 $\angle BAC$ は鋭角である。点 O は、3点 A, B, C を通る円の中心である。 D は、辺 AC と直線 BO との交点である。 $\triangle DBC$ の内角 $\angle DBC$ の大きさが 40° であるとき、 $\triangle ABD$ の内角 $\angle ADB$ の大きさは何度ですか。



(7) 右図において、立体 $ABCD-EFGH$ は $AB = AD = 4\text{ cm}$ 、 $AB = 7\text{ cm}$ の直方体である。 I, J は、それぞれ辺 AE, CG の中点である。このとき、 A と C とを結んでできる線分 AC の長さと、 I と J とを結んでできる線分 IJ の長さとは等しい。また、4点 D, I, F, J は同じ平面上にあり、この4点を結んでできる四角形 $DIFJ$ はひし形である。



① 次のア～オのうち、辺 AB とねじれの位置にある辺はどれですか。すべて選び、記号を書きなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ア 辺 AD | イ 辺 AE | ウ 辺 CG |
| エ 辺 FG | オ 辺 HG | |

② ひし形 $DIFJ$ の面積を求めなさい。

B 面

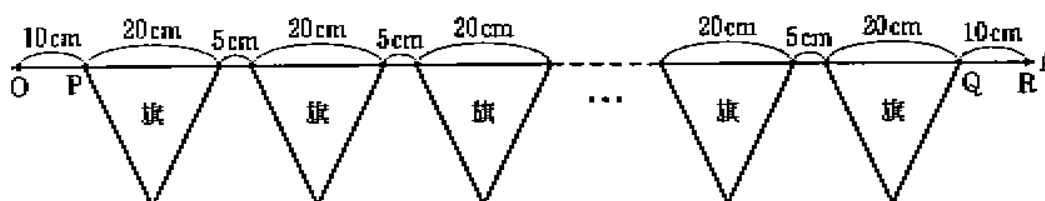
2 ケイコさんは、右の写真のような三角形の旗が連なった飾りを作るため、図Ⅰ、図Ⅱのような模式図をかいて考えてみた。



図Ⅰ、図Ⅱにおいて、 O 、 P 、 Q 、 R は直線 ℓ 上の点であり、この順に並んでいる。 $OP = QR = 10\text{ cm}$ である。

次の問いに答えなさい。

図Ⅰ



1) 図Ⅰにおいて、一つの旗の横幅は 20 cm であり、旗と旗との間隔はすべて 5 cm である。「旗の数」が x のときの「線分 OR の長さ」を $y\text{ cm}$ とし、「旗の数」が 1 増えるごとに「線分 OR の長さ」は 25 cm ずつ長くなるものとする。

① 次の表は、 x と y との関係を示した表の一部である。表中の(ア)、(イ)に当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

x	2	...	5	...	10	...
y	65	...	(ア)	...	(イ)	...

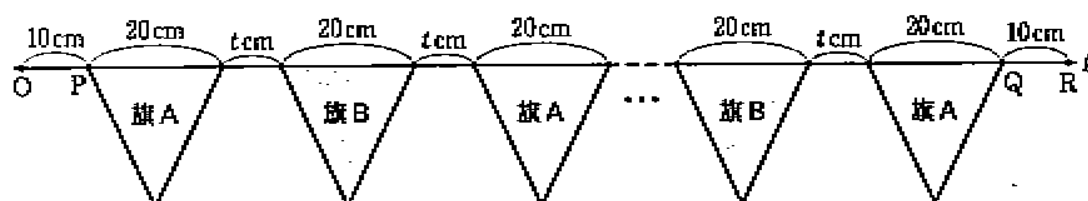
② x を 2 以上の自然数として、 y を x の式で表しなさい。

③ $y = 990$ となるときの x の値を求めなさい。

2) ケイコさんは、色の異なる 2 種類の旗「旗A」、「旗B」を交互に並べて、「線分 OR の長さ」が 1200 cm になるようにしようと考えた。

図Ⅱにおいて、「旗A」と「旗B」は、横幅がいずれも 20 cm であり、左から右へ交互に並べられている。左端、右端にあるのはいずれも「旗A」である。「旗A」は s 枚ある (s は 2 以上の自然数) とし、旗と旗との間隔はすべて $t\text{ cm}$ とする。 t を 20 より小さい自然数とすると、 t を 20 より小さい自然数とすると、 t を 20 より小さい自然数とすると、「線分 OR の長さ」が 1200 cm となるのは、 s と t の値がそれぞれいくらの場合ですか。

図Ⅱ



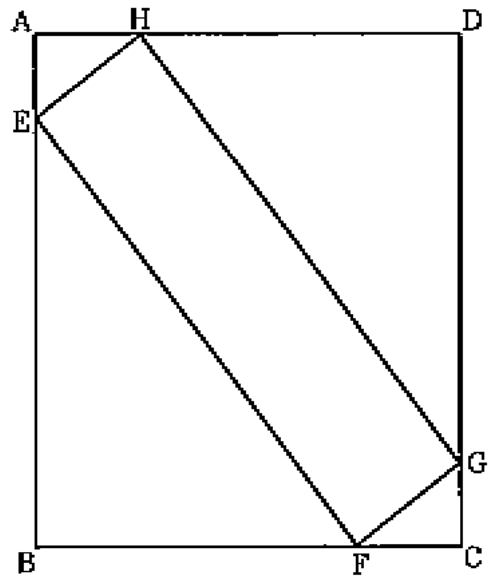
- 3 図 I, 図 II において, 四角形 ABCD と四角形 EFGH はともに長方形であり, $EF = 8 \text{ cm}$, $EH = 2 \text{ cm}$ である。4 点 E, F, G, H はそれぞれ辺 AB, BC, CD, DA 上において A, B, C, D と異なる。このとき, $\triangle HAE \sim \triangle GDH$ である。

次の問いに答えなさい。答えが根号をふくむ形になる場合は, その形のままでよい。

(1) 図 I において,

- ① $\triangle HAE$ の面積を $S \text{ cm}^2$ とするとき, $\triangle GDH$ の面積を S を用いて表しなさい。
- ② $\triangle EBF \equiv \triangle GDH$ であることを証明しなさい。
- ③ $HD = 5 \text{ cm}$ であるときの辺 AB の長さを求めなさい。求め方も書くこと。

図 I



- (2) 図 II において, B と D とを結ぶ。I は線分 BD と辺 EF との交点であり, J は線分 BD と辺 HG との交点である。 $AB : AD = 3 : 2$ であるときの線分 IJ の長さを求めなさい。

図 II

